



委員会視察

【レポート】

文教厚生常任委員会

耐震工事实施の 小・中学校及び 交流センターを調査

9月29日、今年度に耐震補強工事を実施する町内各小中学校7校を訪問し、学校長から学校要覧等の資料に基づく、学校全体の概要、教育目標や研究主題を中心に取り組み等の説明を受けた後、各校が抱える課題や行政への要望等の聞き取りなどを行いました。

その後、耐震補強工事現場をまわり、教育委員会職員から工事完成後または工事中の状況について説明を聞きました。交流センターについては、センター長から供用開始後の利用実績、今後の利用計画等の説明を受け、委員からはセンターの職員の配置体制や維持管理費についての質疑がありました。

その後、ホールなど施設の説明を受け、実際に客席が電動で折りたたまれながら収納されていく様子を見学しました。

産業建設常任委員会

国道424号線の改良 について、熊野川地内 などを調査

7月28日、国道424号線の改良工事計画について、振興局より資料・図面を見ながら説明を受けた後、現地に向向き視察を行いました。

国道424号線は、田辺市から紀の川市に至る11.6キロメートルの幹線道路であり、滝頭から熊野川間の線形不良と幅員狭小区間の解消を目的に平成19年度から工事が進められています。

歩道のガードレール、ガードパイプの設置について、またトンネル工事について質問・協議をし

ました。

トンネルの工事については、早く着工し供用を開始したいということ、用地買収を進めていることです。トンネル内の歩道は、地元では必要ないということでした。議員からは「やはり設置するべきではないか」との意見が出ました。

今年度の予定は、野々子橋の下流側から用地買収をすすめ、下流側及び堂の谷橋付近の工事に着手する予定になっており、上流側については用地測量と、トンネルの詳細設計を行う予定になっているとのこと。



また、平和橋の早期架け替えについて陳情書が提出されています。幅員は2m、進入路は幅5mと狭く、地域住民にとっては唯一の生活道であり無くてはならない橋となっており、地元友洲区の区長も現地に来られ、早期の架け替えを要望されました。